

事例発表②

地域医療を支えるために 病院全体で取り組む看護師獲得大作戦



Japanese
Red Cross Society

石巻赤十字病院
看護部長 高橋純子

 Japanese Red Cross Ishinomaki Hospital

石巻赤十字病院の概要

- 急性期病院 464床 診療科31科(一般病床460・感染4)
 - ICU-CCU 10床 ・HCU6床
 - 救急病棟 24床
 - 一般病棟 9病棟 7対1
 - 急性期看護補助体制加算 25対1
 - 看護師596人 看護補助者 69人

2016年度

- 病床稼働率 93.7%
- 平均在院日数 11.3日
- 1日平均入院患者数 434人
- 1日平均外来患者数 1086人

■ 指定

- 日本医療機能評価Ver. 6認定
- 救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 宮城県災害医療センター
- 宮城県地域周産期母子医療センター
- がん診療拠点病院
- JCI認定病院



石巻市、気仙沼市、登米市、
東松島市、牡鹿郡、本吉郡
人口：約30万人



医療勤務環境改善の取組みの背景

2011年3月11日(金)

14:46

東日本大震災 発災

医療機関の多くが診療不能に陥る

発災直後の医療情勢

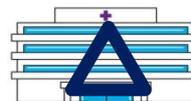
急性期

亜急性期・回復期

療養期



石巻赤十字病院:
402床

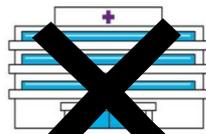


女川町立病院:98床

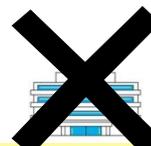
齊藤病院:142床

石巻港湾病院:135床

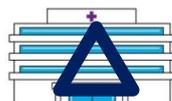
真壁病院:131床



石巻市立病院:206床



市立雄勝病院:42床



仙石病院:120床



市立牡鹿病院:40床

石巻ロイヤル病院:42床

震災以降に掲げたビジョンと経営目標

石巻赤十字病院のビジョン

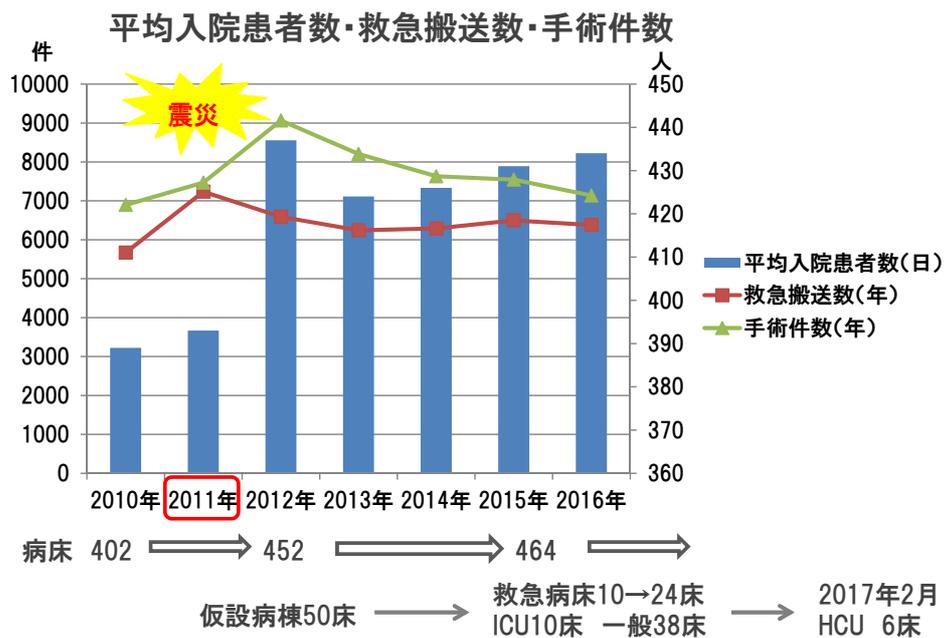
『東北一、活気ある病院』

2017年度までの経営目標

1. 『優れた医療人を惹きつけ、成長させ、働いて良かったと思える病院』
2. 『県北東部の高度医療を担う病院』
3. 『最良の治療環境を整えた病院』
4. 『地域医療の復興を支える病院』



診療実績の推移



	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
稼働率	96.8	96.8	96.8	93.9	94.4	93.8	93.7
平均在院日数	11.6	11.1	11.3	11	11.5	11.3	11.3

激変する環境の中で 住民の健康を守り、職員の生活を守るために

看護職員の確保と定着

目標値は看護師
100人増員！

看護職(職員)が生き生きと働き続けられる職場づくり

組織全体で複合的な対策を！

医療勤務環境改善の取り組み内容 働きやすさの確保、働きがいの向上のために

制度を活用しやすく→就業規則WEB版
男性の育児休暇取得者も

事務手続のしおり



いいねカード
→5枚集めて1,000円分の
報奨品ゲット

研修支援
→国内・国外留学も支援

福利厚生 サークル活動など
→20クラブが活動

職員表彰
→仮設病棟スタッフや
看護補助者チームも表彰された

住宅確保困難な地域のため
職員住宅建設
→50室 病院が約6.5割負担

院内保育所「げんきっず」の新築
→45人から80人へ
病児保育、夜間保育への拡充



公休 126日
有給休暇 21日
夏季休暇 3日
永年勤続休暇
育児短時間制度
夜勤免除



看護師の負担軽減策として

患者総合支援センターで
事前に入院説明、アナムネ聴取
→入院予約患者
月平均約370人への介入

CEとの協働→内視鏡、透析、手術、
ME機器管理、研修

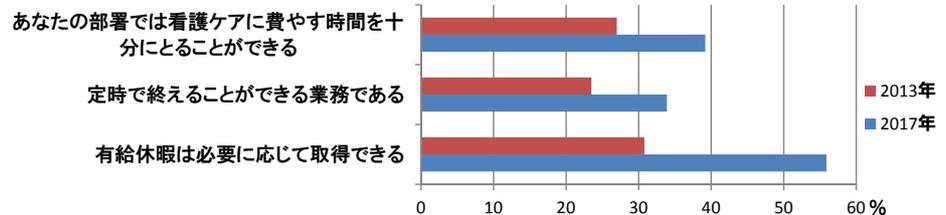
派遣看護師の活用
市立病院 2012年～2016年 49人
全国赤十字病院 2016年度 34人

夜勤専従制度スタート

看護補助者との協働
→患者への直接的な生活援助中心
看護補助者 29人増員/7y



ワーク・ライフ・バランス(WLB)インデックス調査結果



採用促進のための取り組み

看護師獲得大作戦チームを結成

人事課、看護部幹部だけでなく、
病院一丸となったリクルート活動が必要
管理者だけでなく若手看護師が採用を考える
プロジェクトチーム

■ チームメンバー構成

若手看護師 22名 平均年齢24.9才 男:女=3:19

■ 運営メンバー

副院長、看護副部長、教育研修係・広報係事務職員

■ 運営方法

活動頻度:月1回 活動形式:グループワーク

活動内容

自分の病院の強みを
PRしようよ

①ワークショップ

テーマ

「看護師獲得のために
何が必要か」



②企画立案

グループごと

コンセプト考案、企画立案

どんな企画が人を
引き付けられるか!?



活動内容

この企画、私たちに
やらせてください!

③幹部プレゼン

院長はじめ幹部や上司に
企画のプレゼンテーション



④リクルート活動

就職説明会への参加
インターンシップ受入れ
関連イベントの企画運営

このパンフレット
私たちが作ったの!



チームからの提案による企画が実現

バイク救護隊結成



熊本地震災害

リクルートパンフレット作製

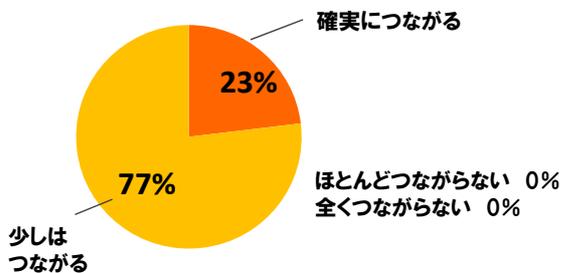


他にも・・・
 病院公式FB 病院ライトアップ

看護師獲得大作戦の成果

■ チームメンバーアンケート

Q)看護師の獲得につながると
 思いますか？



■ 幹部、管理職

- ・現場の意見に触れ、考える機会
- ・若手看護師の意識変化に触れる

■ 若手看護師

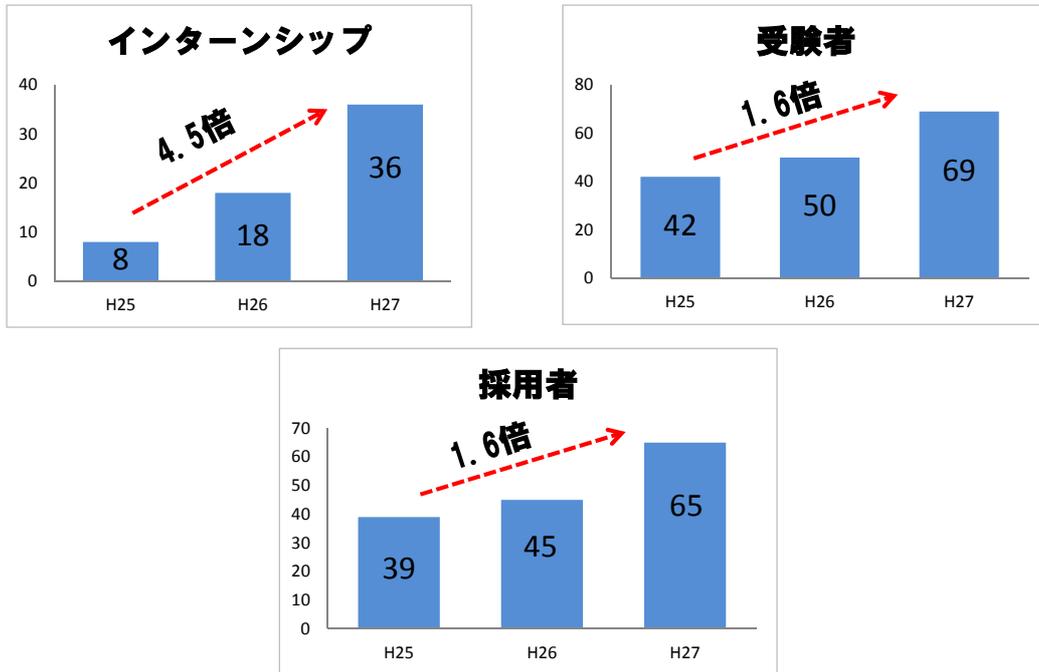
- ・病院について考える機会となった
- ・自分達で課題を見つけ改善する機会となった
- ・看護師の獲得より 今いる看護師の定着を考えたい

看護師の獲得、定着を
 “自分ごと”として認識
 →積極的なリクルート活動へ

病院全体の意識変化をもたらし、
 採用数の増加へつながった

看護師獲得大作戦の成果

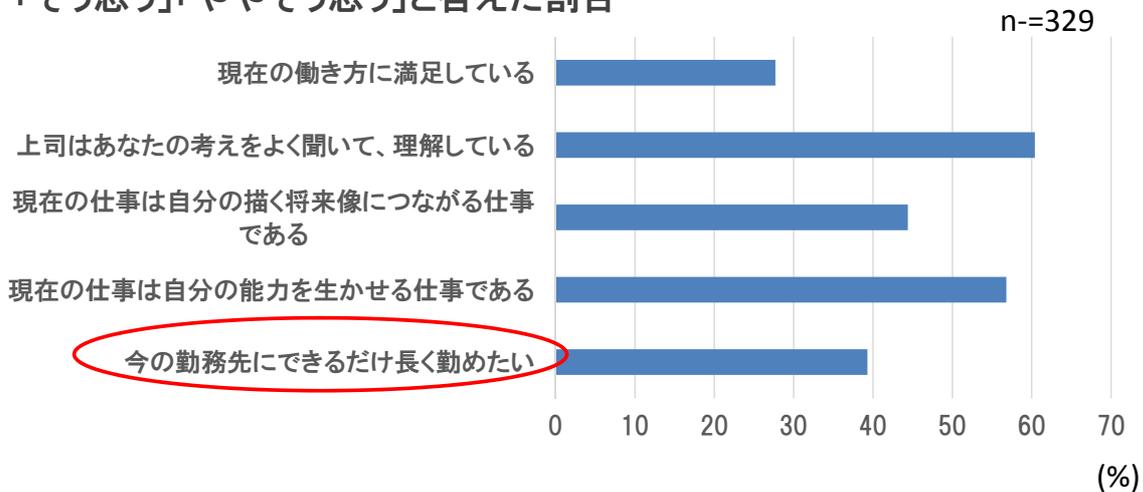
■ インターンシップ参加者、受験者、採用者の増加



定着を図る必要性が・・・

2013年 WLBインデックス調査結果

「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合



看護師獲得大作戦のアンケート結果から 一スタッフの声一

⇒ 「採用よりも今いる看護師の定着を図りたい」

「働きがい」を高めるために

福利厚生的WLBだけではだめ・・・働きがいに着目！

ハーズ・バーグの二要因理論(衛生要因/動機づけ要因)

【目標】

看護の価値を再認識し、コミュニケーションを通して
承認の組織文化を醸成する

- ナラティブページの開設・・・教育担当看護副部長、総務広報係
人事課、教育研修センター

イントラネットでナラティブを開示

→コミュニケーションの促進と承認の機会につなげる

- 「しゃべり場」を開催・・・WLB推進委員会、総務広報係、人事課、副院長
多職種間でテーマを決めてワールドカフェ

→お互いの仕事を理解し、認め合い、価値観を共有する

ナラティブページのご紹介



おなじものはヒトツとない わたしだけのものがたり

おのびがっしす

ナラティブページとは

当院で働く看護スタッフのみなさんに この仕事に興味を持ったきっかけや日々の思いなど
それぞれのエピソードを紹介していただきます。

のびがっしす
ナラティブページ

わたしのナラティブ

<p>NEW!!</p> <p>仕事と育児と、感謝と笑顔。</p>	<p>「おめでとうございます」と 送り出す喜び</p>	<p>専門性を高め、 質の高い重症集中ケアを</p>	<p>我が子同然の患者たちを 一人前の助産師へ</p>
<p>NEW!!</p> <p>いつもニコニコ笑顔で 八十八キと!!</p>	<p>どんなときでも どんな場所でも看護は共通!!</p>	<p>憧れの救護者候補を 目指して日々勉強!!</p>	<p>バックナンバーは こちら</p> <p>その他の ナラティブは こちらからチェック!!</p>



のびがっしす
コメント・メッセージ

コメント・メッセージ

ナラティブページ担当 (内線: 2331 メール: 9981)

現任教育委員会プレゼンツ!!
2015年度 看護ケア発表会 特設ページ!!

院外での多岐にわたる活躍を要チェック!!
みんなの執筆集 特設ページ!!

ナラティブページのご紹介

わたしのナラティブ

Vol-21 仕事と育児と、感謝と笑顔。



1. この職種を目指したきっかけ—何かあったときは家族を助けられる看護師
中学生のとき両親が年末期の育児に接する親戚の看護師の姿を見て感動し「わたしも」

心づいたのか」を収めし思い出し、地元に戻ることにしました。ラ恋は、地元に戻り家族にいつでも会える距離にすることができ、よかったと思っています。

2. わたしの仕事—病棟の皆さんに助けられ、仕事に家事に育児に奮闘



現在、2歳と4歳になる子どもがいるので、育児短時間勤務をしています。毎日、仕事に家事に育児と慌ただしい日々を過ごしています。それでも、子どもの笑顔に癒されることもありますし、勤務前の約15分間の休憩に飲むコーヒーで一息ついていきます。

育児短時間勤務で仕事をするにあたり、病棟のスタッフの皆さまには迷惑をかけてしまうことや助けられることが多く、感謝の気持ちでいっぱいです。また、看護部の

わたしのナラティブ

Vol-8 女性そして家族の新たなスタートに立ち会う喜び



1. この職種を目指したきっかけ—女性のライフステージに寄り添う仕事
Mid-wife 女性に寄り添う人。女性のライフステージに寄り添い、支えていく助産師になりたい、と思ったのは看護学生の頃でした。看護の道へ進んだのは、自分自身

わたしのナラティブ

Vol-15 これまでの経験を生かし外来看護に全力を注ぐ



1. この職種を目指したきっかけ—幼少期のケガと白衣の看護師さん
小学5年のときに右手の指の一部を失うケガをしました。その事故の後遺症もあり、病院通いが続きました。指を失ったことは精神的にもショックでしたが、通院・入院を

ナラティブページの効果

■9割の高い閲覧率・・・他者の看護観に感動する、感銘する

■読者から記載者へのフィードバック内容

- ◇感動・共感したこと
- ◇看護観への共感
- ◇感銘を受けたこと
- ◇素晴らしい
- ◇頑張っているね

■記載者は・・・

- 「看護の振り返りになった」
- 「初心に戻って頑張る気持ちが出てきた」
- 「自分のやりたいことがはっきり分かった」

- ◆記載者は読者がいることで未来志向の記事を書いている
- ◆読者はポジティブな自己開示により返報性のコミュニケーションを返す好循環が生まれた
- ◆記載者は承認欲求が満たされ、読者との価値観の共有が生まれた

ワールドカフェ 「しゃべり場」

ワールドカフェの進め方

第1ラウンド(テーマの探求)

第2ラウンド(アイデアを他花受粉)

第3ラウンド(気づきや発見を統合)

全体セッション(集合的な意見を収獲、共有)

お茶やお菓子も準備して
ざっくばらんにアイデアを出し合う



これまでの開催テーマ

「みんなが満足できる休みの取り方とは」

「病院経営ビジョンを自分の仕事で具現化するには」

「ナラティブを語り合おう」

「しゃべり場～病院経営ビジョンを自分の仕事で具現化するには～」でのプロダクト

働きやすい場、雰囲気の良い
環境づくり、思いやり

毎日少しでも“いい仕事をしたい！”
と思える働き方をする

少しでも達成感を味わえる
仕事をする

自分の満足が上がれば
患者さんの満足も上がる

やりがいを持って
充実した仕事ができる
雰囲気を作る



自分の毎日の目標を
病院の進むべき方向と
Linkさせて考える

スタッフ・患者さんとの
コミュニケーション第一

忙しい中でも自分のやりたい
看護を見つけて楽しむ

節目を乗り越えてきた
これからも・・・相談できる人がいた

「しゃべり場」の成果

(事後アンケートより)

自分が決めた行動計画について
→ 9割が行動を継続できていた

実践した理由は

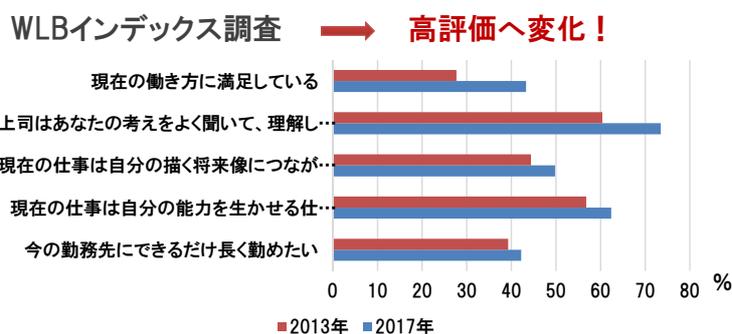
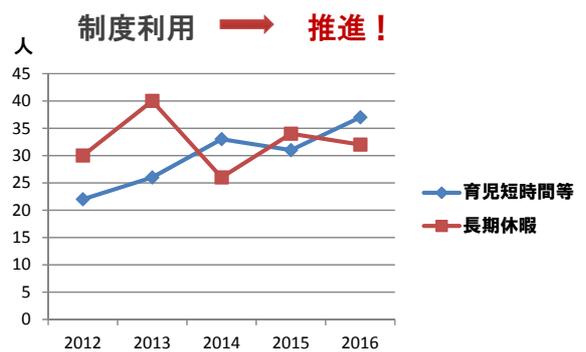
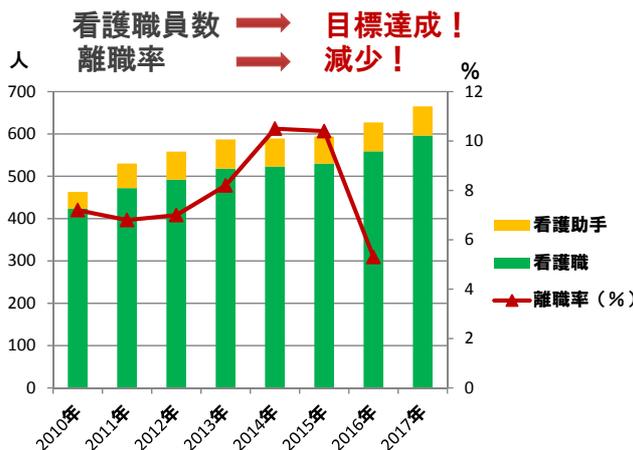
- この仕事が好きだから
- 意識が変化したから
- しゃべり場に参加したことで、前向きに考えるようになった

実践しての成果は

- やりがいを感じる事ができた
- 職場の雰囲気良くなった
- 他部署の人と初めてコミュニケーションをとる事をおっくうに思わなくなった

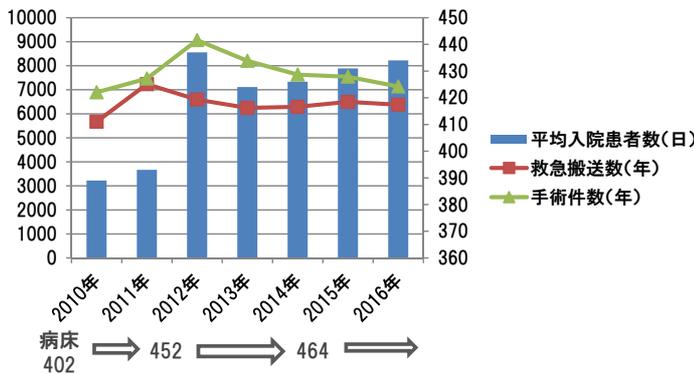
**外発的動機づけから内発的動機づけに変わったことで、
行動変容の継続につながった**

医療勤務環境改善の総合的な成果

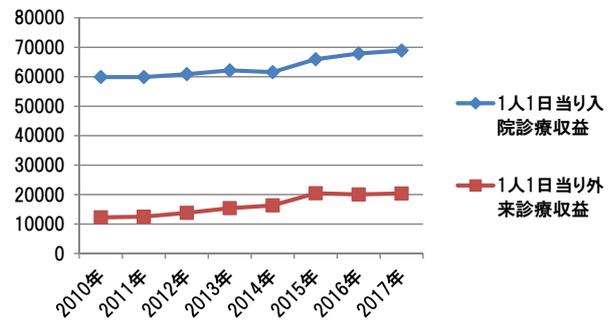


診療実績 → 増床分もフル稼働

平均入院患者数・救急搬送数・手術件数



診療単価



	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
稼働率	96.8	96.8	96.8	93.9	94.4	93.8	93.7
平均在院日数	11.6	11.1	11.3	11	11.5	11.3	11.3

それでも良い医療を提供したい!



医療勤務環境改善の今後の取組み

■現在進行中

□夜勤二交代制の導入 → 働き方・休み方改善

□育児短時間勤務者のキャリア支援と教育

人財の有効活用 → 働きがいの向上

◆教育担当ナースとして役割発揮

◆ライフサポートナース(院内認定)の試み

□応援体制の整備 → 働きやすさの確保

□長時間労働 → 健康支援

メンタルヘルス対策